

( 2022 ) 年度 児童館事業年間活動報告書 ( 常磐野 ) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数								合計	内容	成果と課題				
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア							
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生				大学生	大人		
子ども育成機	(2) 遊びの教室活動																
	工作	21	2	8	221	3	12						247	247	プラバンキーホルダー、ガシガシハンド、アイスのメモスタンド、魔法のかみばさみなど様々な工作を体験する。手先を使い細かい作業をしたり、手間のかかることを楽しみながらすることで集中力を養う。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため遊戯室で人数を制限して実施。	プラバンキーホルダーやメモスタンドは人気が高く参加が多かった。自由来館者が少ないため、同じくユニークに写真掲載するなど工夫して集客に努めた。	
	トランポリンの日	24	1	6	458	2	5						473	473	月2回実施。大型のトランポリンで遊ぶ。安全面に配慮しながら順に一人ずつ跳ぶ。	月2回と回数に限られているが、普段できないあそびの1つとして楽しみにしているため、継続していきたい。	
	みんなあつまれ♪あそびの日	12	15	10	12								55	55	毎月土曜日に2回不定期で実施。カブブロックやプラレールで自由にあそぶ。	プラレールもカブも参加人数が少ないため、広報に力を入れて参加人数を増やしていく必要がある。プラレールとカブだけでなくあそびの数を増やしても良いかもしれない。	
	オセロ・将棋道場	12	1	6	210	14	6						238	238	オセロ・将棋のやりたい方を自分で選択し、いろんな人と対戦する。オセロと将棋を気軽にふれあい楽しめる場として取り組む。	色々な人と対戦できることを楽しみに、たくさんの参加が見られた。学年が上がると下校時間が遅く参加できる時間が少なかったため、参加しやむを得ない設定やオセロや将棋の数を増やし一度にできる人数を増やすなどの工夫していく。	
	アフター5は卓球タイム	1						2						2	2	中学生を対象に午後5時以降の時間、遊戯室にて卓球を楽しむ。	ほとんど利用がなかった。中学生が気軽に来館できるよう取り組みを考えていきたい。
	(4) クラブ活動																
	小学生クラブ説明会	1	1	7		11								20	20	小学生クラブ(工作・実験クラブ、はんどめいどクラブ、切り紙・切り絵クラブ、ドッジボールクラブ)に参加を希望する児童を対象に、各クラブの目的、内容、運営などについての説明を行う。	クラブの内容をきちんと説明することができた。定員を超えることはなかったため、抽選は行わず、人数が少ないクラブについては、子ども同士誘い合って参加してもらえよう声掛けをしていく。
	工作・実験クラブ	36		52		152								204	204	3年生以上を対象に週1回実施。身近な素材を利用した工作や実験をする。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、今年度も人気のある食べ物や工作実験はできなかった。子どもたちの要望を積極的に取り入れることで、主体的・意欲的に取り組むことができた。
	はんどめいどクラブ	32		26		53								79	79	3年生以上を対象に、週1回実施。手芸やクラフトなど工作・実験クラブとは違ったてづくりの作品に挑戦し、生活にも役立てられるようにする。	子どもたちの要望を取り入れながら行うことで、楽しんで取り組むことができた。また針が怖いといった声もあったため、前半は毛糸のうき、くるみボタン、スライム粘土などを行い、慣れた後半で織物に挑戦した。今後も声を大事にしていきたい。人数が少なかったため、広報の仕方などを工夫する必要がある。
	切り紙・切り絵クラブ	34												0	0	3年生以上を対象に、週1回実施。切り紙を通してはさみの使いから学び、基本練習から難易度をあげた作品に取り組んでいく。切り絵を通して、基本練習からそれぞれのレベルに合わせて難易度の高い課題に取り組んでいく。	今年度も登録者はいなかったため、来年度は一旦当クラブは廃止し、代わりとして『あそびクラブ』(頭を使ったり体を動かしたり自分たちでかるたやすごろく等制作したものであそぶ)を設ける。
	ドッジボールクラブ	19		197	8	149								354	354	小学生を対象に、月2回実施。右京ブロック交流行事ドッジボール交流会に向けて技術向上とチームワークをふかめる目的でドッジボールを行う。	低学年も高学年もたくさん参加する。出席率もよく、意欲的に参加していた。技術面を磨くために、職員も技術向上を目指す必要がある。
	(3) 行事活動																
	館内オセロ・将棋大会	1			5	1								6	6	リーグ形式で対戦。入賞者は賞状と小さいトロフィーがもらえる。	事前申し込み制ということもあるのか参加が少なかったため、当日学童クラブに来ている子どもたちに参加を募った。真剣な様子が見られ、入賞した子は喜び、負けた子ども次に向けて頑張ろうといった意欲が見られた。募集の仕方については工夫する必要がある。
	館内マンカラ大会	2		2	9									11	11	総当たり戦で対戦。入賞者は賞状と小さいトロフィーがもらえる。	事前申し込み制ということもあるのか参加が少なかったため、当日学童クラブに来ている子どもたちに声をかけた。参加した子どもたちは勝利に向けて真剣に向き合っていた。賞状やトロフィーがもらえることがモチベーションにも繋がっているため、そこは継続していきたい。集客については検討必要。
館外行事 琵琶湖博物館説明会	1		2	11									15	15	館外行事参加を希望する児童に対し、目的や日時、持ち物について説明する。	丁寧に説明を行うことができた。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い行事は急遽中止になったが、丁寧に中止の説明を行うことでご理解いただいた。	
納涼まつりスタッフ	10			52						3			55	55	4年生以上対象。納涼まつりに向けて子どもコーナーの準備から当日の運営まで取り組む。	初めての参加の子が多かったが、子どもたちの思いを大切に主体的に取り組めるよう働きかけることで、当日スタッフも参加者も楽しめるコーナーを作り上げることができた。子ども同士の仲も深まった。	
納涼まつりスタッフおつかれさま会	1			9									9	9	スタッフが集まって反省会。アンケートを記入、おやつを渡す。	反省会後は、当日体験できなかったコーナーや自分のコーナーをみんなで楽しんだ。クリスマス会のスタッフもいたいといった声も上がっていた。	

能	サントクラブ	10				63								63	4年生以上対象、クリスマス会に向けて子どもコーナーや看板の準備や当日のコーナー運営、司会進行などを行う。	こどもたち同士で勝負、たくさんのスタッフが集まった。職員はサポート程度で、こどもたちが積極的に意見を言い合い、自分達で進めることができた。当日は緊張もあったが楽しんでできていた。
	サントクラブおつかれさま会 (5) 地域間交流促進活動	1				8								8	サントクラブで集まって反省会、アンケートを記入。みんなであそんで最後におやつとプレゼントを渡す。	こどもたちに参加できる日程を確認したことで、ほとんどが参加できた。和やかな雰囲気での反省会を行うことができた。
	右京ブロックあそびの交流会予選会	1			2	3								5	右京ブロックあそび交流会の出場者を選出後、練習をする。	事前申し込み制のためなかなか集まらなかったが、直接声をかけることで自由来館児の参加も見られた。大会後の空いた時間で、あそびの交流会に向けた交流戦を実施した。
	右京ブロックあそびの交流会	1			2	3								5	右京ブロック内の児童館交流行事。	1戦目で負けてしまうもいたが、その後の交流戦を楽しんでいた。普段から遊べる環境を作り、こどもたちのモチベーションを高めていきたい。
	右京ブロックドッジボール交流会説明会	1		10		7				1				18	右京ブロックドッジボール交流会の参加希望児童に対し、日時や持ち物などを説明する。	直接電話で参加の声をかけたこともありたくさん参加できた。
	右京ブロックドッジボール交流会 (6) 障がいのある児童の居場所づくりと活動への参加促進	1		13		10								23	右京ブロック内の児童館交流行事。	日頃の成果を発揮して戦うことができたが、結果としてはほとんど負けてしまった。技術向上に向けて練習方法などを見直しても良い。
	障がいのある児童の自由遊び	1							1	1				2	障がいのある児童の自由活動の場として、利用してもらう。他の児童との交流にもつなげる。	今年度は利用が少なかった。介助者または保護者と一緒に来てもらい、居場所として利用してもらえよう広報していく必要がある。
	合 計	223	20	339	927	551	25	3	24	3	0	0	1892			
推 進 活 動																
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
子ども育成機能 合 計	223	20	339	927	551	25	3	24	3	0	0	1892				

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

( 2022 ) 年度 児童館事業年間活動報告書 ( 常磐野 ) 児童館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題				
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計			
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人						
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	※ (1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動																	
	①乳幼児クラブ説明会	3	19										18	37	(1) 幼児クラブに参加を希望する保護者を対象に、クラブの目的や内容、運営などについての説明を行う。	クラブの内容を丁寧に説明することができた。保護者や子ども同士が顔を合わせる良い機会にもなった。		
	①乳幼児クラブ	106	787										761	1548	週9回実施。生後8か月までのお子さん対象のリナクラブ、8か月～1歳までのお子さん対象のひよこクラブ、1歳以上対象のくまクラブ3つに分かれて活動している。職員による手遊びや絵本に加えて、七夕、クリスマス会、季節の行事や小麦粉粘土、新聞紙遊び、簡単な工作を行っている。くまクラブは保護者が企画から当日の運営までを行う「にこにこママの日」を年4回設け、保護者もクラブに積極的に関わっていただけるようにしている。また、乳幼児クラブが合同で参加できる活動も実施しており、月齢を超えた交流の機会を設けている。	どのクラブも年度が進むにつれて人数が増えていった。コロナ禍で他の保護者との交流が減り遊ぶ場所もなかったこともあり、こうしてクラブがあることが有難いと感じた声があがっていた。また季節の行事や小麦粉粘土、新聞遊びなど、なかなか家庭ではできない活動についても好評だった。時間が短い、もっと交流できる場はないかなど声もあつたため、次年度は取り入れられるよう検討したい。		
	わらべうたベビーマッサージ	2	8										8	2	18	乳児と保護者を対象に実施。講師の先生を呼び、お家ででもできるベビーマッサージを教える。次年度も同じ先生に依頼する。参加者の予定や子どもの月齢とうまく合わずに集客に難しさを感じたため、日程や広場の仕方など工夫する。	昨年度同様、同じ先生に依頼した。お母さんにも子どもにも好評で、満足して帰られる姿が印象的だった。次年度も同じ先生に依頼する。参加者の予定や子どもの月齢とうまく合わずに集客に難しさを感じたため、日程や広場の仕方など工夫する。	
	アロマオイル講座	1	4										7	1	12	12	乳幼児親子対象に実施。「アロマについて」のお話しのあと、抗菌作用やリラックス作用のある精油を使ってアロマワックスサシェを作り、アロマの香りでリフレッシュしてもらえようとする。	作るだけでなく、アロマの知識を得ることができ好評だった。季節に合ったのも良かった。
	子育て世代のライフプランセミナー	1											1		3	4	乳幼児親子対象に実施。講師として銀行員さんに来ていただき、子どもの教育資金、マイホーム資金、老後の資金なども小さいうちから考えておきたいお金の話について講座をしてもらう。	体調不良での欠席が相次ぎ、少ない人数での実施となつてしまった。時期も検討したい保護者に知りたくないことをかかろうなどして子育て家庭のニーズに合った内容を担当の方と相談して作ってきたい。
	子育て講座～離乳食・幼児食について～	2	11										12		2	25	乳幼児親子対象に実施。管理栄養士さんにきていただき、離乳食や幼児食について講座をしてもらう。	参加者の予定や子どもの月齢とうまく合わず参加が少なかった。年の回数を増やしたり、早めに広報するなど工夫が必要。内容が丁寧で分かりやすく、また和やかな雰囲気をして下さることもあって質問しやすく満足して帰られていた。
	子育て講座～おしえて！保健師さん・歯科衛生士さん～	2	11										9		2	22	よく保護者の方から相談がある内容からテーマを決め、テーマにそった子育て講座を保健師さんにしていただく。今年度は保健師さんにトイレットレーン、歯科衛生士さんに口腔ケアについてお話していただいた。	口腔ケアについて聞きたいという声があつたが、当日の参加は少なかった。もう少し分かりやすいテーマにして広報すべきだった。今後またさんの方に参加していただくため、事前に子育てに関する悩みを募集しその中からテーマを決定していきたい。
	児童館であそぼうday	2	5										6		11	11	児童館のお庭または渡り廊下でシャボン玉や砂場あそび、水あそびをする。遊戯室にはトランプなどの大型遊具やおもちゃを準備。	気温が高く外であそぶ親子は少なかった。外であそぶ場合は、簡易テントで日陰をつくるなどの暑さ対策や水分補給等の声掛けを忘れず行っていく。
	②乳幼児あそびの広場	105	462										445		907	② 週3回実施。乳幼児用の遊具を設置し、自由にあそべるスペースを設ける。	天候により参加のばらつきはあるが、年間を通してたくさんの子が参加してくださった。親子のあそび場としての機能だけでなく、職員や他の保護者と交流する機会にもなっており、今後またさんの方が来てくださるよう広報を続けていきたい。昨年度から開始した砂場あそびは、広報するも参加がないため、直接案内するなど知っていたため工夫していく。	
パパもおいでよ♪あそびの広場	24	102										84		186	② 毎月土曜日に2回不定期で実施。乳幼児用の遊具を設置し、自由にあそべるスペースを設ける。お父さんにも利用してもらえるように土曜日に設定。	お父さんとお子さんや夫婦そろって参加される家庭が多く見られた。今後も多く参加してもらえるよう広報していきたい。		
身体測定～おおきくなあれ♪～	22	66										66		132	毎月第1・第3水曜日に実施。身体測定カードを配布し毎月の子どもの成長を記録できるようにする。	身体測定を目的に、1～2ヶ月のお子さんを連れてこられる方が数名おられた。児童館（乳幼児クラブやあそびの広場など）と繋がる「知ってもらおうきっかけ」になり良かった。職員と身体測定を行うことで、コミュニケーションを図ったり成長を喜び合う機会となり良かった。		
合 計	270	1475	0	0	0	0	0	0	1417	0	0	10	2902					
	(3)子育て家庭相談・援助活動		子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数	
			乳児		児童館にて直接受理					3	健全育成問題				児童相談所			
			幼児	1	児童相談所						家庭養育問題			2	保健所		1	
			小1～3年 (自由来館)	1	保健所					1	成長・発達問題			2	子ども支援センター			
			小1～3年 (学童)	2	子ども支援センター						教育問題				幼稚園・保育園			
			小4～6年 (自由来館)		主任児童委員						非行・問題行動				小学校			
			小4～6年 (学童)		その他						その他				中学校			
			中学生		}						}				総合支援学校		1	
			高校生							}					}			

		件数 計		—		—		—	
		グループ名	構成人数	活 動 内 容		育成・支援内容		成果と課題	
	(4)子育てグループを育成・支援する活動								
推 進 活 動		活動名	実施回数	活 動 内 容			成 果 と 課 題		
	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域福祉 本社 促進 機能	基 本 活 動	活動名	実施回数	主 催	参加人数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
	(1) 地域住民との交流を促進する活動	納涼まつり	1	常磐野児童館	35	40	56	31	5	64	76	307	学童クラブ保護者会 常磐野消防分団 嵯峨野高校吹奏楽部	学童クラブの保護者会や消防分団の方、嵯峨野高校の吹奏楽部の方、常磐野消防分団の協力を得ながら実施することができた。久々の実施に多くの参加、またたくさん笑顔が見られた。
		クリスマス会	1	常磐野児童館	30	5	62	11	1	3	71	183	学童クラブ保護者会	学童クラブの子どもたちによるステージ発表、クリスマス工役、サンタグラフによるクリスマス大会、プレゼント渡しを行った。たくさん参加があり盛り上がった。
		親子防災訓練	1	常磐野児童館	6	23	2	9			20	60	常磐野消防分団 右京消防署	避難訓練だけでなく、消火器や煙の体験をしたり消防車に乗ったりしながら火事や災害について学ぶことができた。今後も消防分団の方や消防署の方と連携しながら実施していきたい。
		お茶の会	1	常磐野児童館	1	7					10	18	地域女性会区社協 民生児童委員協議会	親子でお茶をたしなみながら、礼儀作法も学び、普段なかなか体験することができないことを体験できた。地域の方との交流も兼ねているため、たくさんの方に参加していただきたい。広域に力を入れたい。
		じどうかんDE子育てサロン	12	民生児童委員協議会 常磐野児童館	71						125	196	民生児童委員協議会	民生児童委員協議会の皆さんが楽しく保護者やお子さんに接して下さることで、回を増すごとに参加人数が増えていった。民生児童委員協議会の工作だけでなく、職員も参加や話し合いをさせていただくことで楽しい場を作ることができた。今後も連携しながら継続して行っていく。
		合 計	5	—										
		活動内容			活動人数				成果と課題					
	(2) ボランティア活動の推進	おはなし広場			中学生	大学生	大人	合計						
						2	24	26	『京都おはなしを語る会』のボランティアの方に毎月1回来て頂き、子どもたちがいつもとは違う色々なお話を聞く事ができるよい機会となっている。聴きに来ることもたちの表情は話しの内容によって楽しそうにしていたり、怖そうにしていたりと想像しながら聴いていた。また、職員にとっても話し方や表情など勉強になる。					
				合計			24	26						
		連携団体等	連携内容					成果と課題						
	(3) 地域との連携を促進する活動	常磐野消防分団 右京消防署	防災に対して児童館と地域が一体になって取り組んでいけるよう防災訓練を行う。					避難訓練だけでなく、消火器や煙の体験をしたり消防車に乗ったりしながら火事や災害について学ぶことができた。今後も消防分団の方や消防署の方と連携しながら実施していきたい。						

地域	基本活動	組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度	議題/取組内容	成果と課題
		(4)児童館を支える地域組織作り		常磐野児童館運営協力会		年4回	児童館に関する基本的な諸問題について	児童館の在り方について、地域の方にも知ってもらおう窓口であり、今後も連携を深めていきたい。
福祉促進	推進活動	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)	成果と課題	
		(5)地域への施設提供		ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス		餅つき大会 夏まつり 地藏盆 体育活動 行事	少年補導委員会 少年補導委員会 町内会 体育振興委員会 夢窓幼稚園	館の備品を貸し出すことをきっかけに、館との関わりを持ってもらい、今後の活動にご協力いただけるような関係となれるよう努める。
能力		調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	
		(6)地域調査活動						

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館ニュース	月1回	児童と保護者 地域住民	小学校で全校配布 乳幼児クラブにて配布 児童館入り口に設置 保健福祉センターへ郵送 宏量福祉会役員へ郵送 ネットワーク会議メンバーへ郵送 地域への回覧	月々の行事日程や内容の広報、先月の行事の報告等	地域回覧や小学校での全校配布により、乳幼児親子の利用や小学生の行事への参加に繋がっていた。しかし、直接子どもたちに話を聞くと「見ていなかった」「知らなかった」といった声もあったため、子どもたちの目につきやすいレイアウトや文章にする等工夫をしていく必要がある。
	児童館お知らせ	随時	児童と保護者	小学校で対象学年に配布	行事やクラブ活動についての詳細を参加者募集の呼びかけ	納涼スタッフ、サンタクラブ、館外行事はたくさんの参加があった。児童館ニュースに掲載するよりも個別の配布の方が、目に留まりやすいと思われる。募集の内容によっては個別の配布を検討したい。
	ポスター	月1回	児童と保護者 地域住民	小学校正門、東門の掲示板へ貼る	月々の行事日程や内容等	掲示物の上から透明な袋をかぶせて保護したり、天気予報を確認して一度取り外したりして雨や風の対策を行った。登下校の子どもたちの目につく場所にあり、取り組みの情報を知る・再確認するきっかけとなっている。
	日程掲示 (パパ広場・身体測定)	月1回	乳幼児の保護者	小学校正門掲示板へ貼る	月々の日程	偶然通りかかった親子が、掲示板を目にして来館されることがあった。昨年度は雨や風で劣化してしまったが、今年度は透明な袋をかぶせて保護をし綺麗な状態を保つことができた。
	乳幼児利用案内	毎年更新	乳幼児の保護者	乳幼児クラブで配布 児童館入り口に設置 来館親子への配布	乳幼児とその保護者の児童館利用についての説明	新規の方へ利用案内を配布することでクラブへの登録に繋がった。今後も手に取りやすい場所に置いておき、補充を定期的に行う必要がある。
	児童館ホームページ	毎月更新	児童と保護者 地域住民 乳幼児の保護者	インターネットでの情報公開	おたよりの掲載、月々の行事日程や内容等	遅れることなくこまめに更新することができた。また、ホームページを見て、児童館に来て下さる方も増えた。

( 2022 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 常 磐 野 ) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶・基本的な生活習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちひとりひとりのロッカーの使い方、片付け方等は、学童の生活の基本として定着してきている。新入所の子ども達も2年生以上の片付け方等を見て、真似してみたり、時には職員が付いて教えたりすることで、片付けができるようになる。ただ、言われないとできない、やらない子もいるため、自分で気づいてやっていけるような声かけや働きかけは必要である。</li> <li>・おもちゃや児童館の物を借りるときは、職員に一言声をかけてから借りるように子どもたちには伝えている。そのため、使用後はもし元の場所に返していなかったり、壊れてしまった物を何も言わずに返したとき等にこちらも把握し、その都度子どもたちに話をしている。仲間との共同生活の中で、みんなで使う物が使えなくなってしまうと他の人が困ることや、自分の物だけでなく、自分が使う物は大切にするように子どもたちには伝えてきた。そのため、子どもたち同士でも確認しあえたり、注意しあえたりすることができるようになってきている。</li> </ul>
	健康の管理・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅時の安全対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5時集団帰りの子どもたちは、慣れるまでは職員がある程度引率して帰っていく際、帰る方向や家の場所等が把握出来、危険箇所や注意箇所を把握することも出来、子どもたちに指導する。子ども達も慣れてくると学校の門までの送りとし、同じ方向に帰る子どもたちは、一緒にまとまって帰るように指導したり、上の学年が下の学年の面倒をみてかえってほしいと伝える。帰り道でトラブル等が起き、保護者からの連絡や子どもたちからの相談等があると、すぐに対応。当事者の子どもだけでなく、同じ方向に帰っている子どもたち全員を呼んで話を聞くこともある。その結果を保護者に伝える。必要によっては、帰りの会で例として全体に子どもたちに伝えたり、おたよりや懇談会で保護者に伝えたりする。まだまだ自分本位に帰ることがあったり、喧嘩があったりする場合は話をするだけでなく、あまりに心配な時には保護者と相談し、お迎えにしてもらうこともしてきた。子どもが無事にそして保護者が安心して家まで帰ってくるのが1番なため、今後も帰り道については子ども保護者共に情報の提供や話をしていく必要がある。</li> </ul>
	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがい、消毒の励行</li> <li>・各自の手拭きタオル使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いうがいは常日頃から取り組んできた。外から帰った時、トイレの後、食事、おやつの前には必ず手洗い、消毒をするように徹底した。消毒も子どもたちは習慣の一つとして行っている。全体に伝える事、個々に伝える事、保護者にも学童の状況を話し、家庭でも声をかけてもらうようにしてきた。繰り返し伝える事がまだまだ必要な状況である。手を拭くタオルはどうして忘れてはいけないのかという事と自分で用意をする事も合わせて伝える。忘れてくる子どもは決まってくる。</li> </ul>
	社会生活技術の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番活動</li> <li>・清掃活動</li> <li>・片付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も感染症対策のためおやつやお弁当は、スクール形式で食べた。おやつ当番が配膳し、リーダーが配っていたコロナウイルス感染症拡大前とは違い、手洗い、消毒後は間隔をあけて並び、職員が準備をしたおやつをひとりひとりが自分で取りに行く。2年生以上は授業で帰りが遅い時が多く、1年生だけでおやつを始めることが多かった。掃除時間のお皿洗いの当番も今年度も行うことはできなかった。しかし、掃除には週ごとに変わる担当場所を、リーダー・副リーダーが掃き掃除やゴミ拾いなどに振り分け、班で手分けをしてあたる。</li> </ul>
子ども育成機能	生活体験の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班活動、班での取り組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・班会議</li> <li>・当番活動</li> </ul> </li> <li>・みんなあそび</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、2年生以上の帰りが遅い等で、皆が揃わないことも多い状況。その中でも時間を見つけてリーダー中心に班活動を行ってきた。</li> <li>・班会議では、1年生は始めの頃は自分から話が出事は少ないが、1年間での班会議の中で、リーダーや副リーダーに意見や気持ちを聞かれる経験を通して、自分の思いを帰りの会でもみんなの前で伝えられるまでになる。</li> <li>・班での取り組みとしては、班対抗ゲームなど、みんなあそびを通して、仲間同士協力する気持ちや集団でのあそびを楽しむを持つようにしていった。時間の可能な限りみんな遊びに取り組む予定だったが、コロナウイルス感染症拡大や学校の帰りが遅い等の理由で例年よりもみんなあそびに使用できる時間が少なかった。あそびの内容としてドッジボールだけでなく、新しい集団あそびも取り組む。</li> </ul>
	社会性の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス会 (出し物等)</li> <li>・入所式、修了式</li> <li>・夏休みの課題 けん玉練習、けん玉検定</li> <li>・誕生日メッセージ作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下の学年の面倒も見ることが出来、特に女子は大人に言われなくても考えて行動できるようになっている。3年生は結束もつよく、中心になる子どもと一緒に行動を共にする。けん玉検定に向けての練習やクリスマス会の出し物練習では、3・4年生の姿に影響され他学年も積極的に参加し、練習も途中で投げ出したり、ふざけることはなくいつになく集中していた。特に1年生に取って3・4年生はあこがれの存在になっていた。</li> <li>・班の仲間の誕生日には、班の子どもたちからのメッセージを送る。メッセージの内容はその子の特徴や好きなこと、遊び等を書くことが多い。班によってはひとりひとりの相手の何気ない行動や良いところ等書くことが出来る班と、メッセージが毎回ほぼ同じ言葉になってしまっている班がある。メッセージを書く時間をしっかり作って行く事と子ども達の関係作りをしっかりと出来る様に、遊びや班活動を通してその子の事を知る機会を工夫する事が必要になっている。</li> </ul>
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたより・おやつメニュー表発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月初めに子どもたちの様子を載せたおたより『このゆびとーまれ』を発行。おやつメニュー表は月2回発行。アレルギーを持つ子どもの家庭へはメニュー表を2枚配付、食べられない物には印を付けて返却をしてもらい、代替食を出す等の配慮を行う。</li> <li>・お便りやお知らせについては、文章の構成や、見やすさや理解しやすさ考慮し、書き方を慎重に考え、職員間でも確認を行う。</li> </ul>
	子育ての仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会 (全体懇談会、個人懇談会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会を年4回と個人懇談も9・10月の土曜日に実施。お便りだけでは伝えきれないことを職員間でまとめ、懇談会で伝えている。保護者からも学校・家庭での様子や、学童への要望等を聞き、子どもたちの今の姿を保護者と職員でお互いに共有できるように心がけた。また職員間でも共有を行った。懇談会終了後、不参加の家庭には、内容をまとめた報告書を配布。</li> <li>・学童の気になる子どもの様子をこちらから訪ねて行ったり、担任が来られてはなしをする事もでき、お互いが知らない情報を多く共有・共通理解することができた。個人情報保護の観点には十分注意が必要であることは忘れてはいけない。</li> </ul>
	子育てを支えるネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参加行事 (親睦会、納涼祭り、親子お茶会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症による行事の減少で、今年度は行事に参加する保護者が多かったように感じた。保護者が繋がることで子どもへの理解や、悩み等を共有できる事を伝えていくことも同時に必要がある。</li> </ul>



## ( 2022 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 常 磐 野 ) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人				
1) 生活援助機能																
リーダー・副リーダー会議	4			24										24		班の代表としての活動、運営、仲間との関わりについて話し合う。
班会議	11	121	81	75	3									280		班の活動や学童生活の問題、行事への参加方法について話し合う。
花の植え替え	1	4	3	3	1									11		児童館にある花壇に季節の花の苗を植え、育てる。
クリスマス会出し物決め	5	125	65	72	4									266		クリスマス会で行う出し物を班で話し合って決める。
年末・年度末大掃除	2	30	16	12	2									60		年末、年度末に児童館の大掃除をする。
おたのしみ	1	17	8	8	1									34		年末の大掃除後、おたのしみ会でDVDの鑑賞をする。
3年生会議	3			34										34		修了制作に向け、3年生で話し合い、制作する。
防災訓練	1	14	8	7	1									30		
2) 子ども育成機能														0		
入所式(縮小)	1	33		6									57	96		入所式後、新入所児・保護者・職員・代表の子どもたちと顔を合わせ、歓迎をする。
新入所歓迎会	1	23	12	15	5									55		子どもたちひとりひとりが得意なことや好きなことも含め自己紹介を行う。
ステージ発表 参加	3	13	16	1	12			9					11	62		児童館まつり、納涼まつり、ときわの福祉まつりにステージ発表として参加。内容はよきこいやけん玉ダンスなど。
手仕事(ハンカチの絞り染め)	11	330	131	158	11									630		夏休みの行事。手・指先を使って作品作り。模様を創造しながらはんかちを輪ゴムで縛り、好きな色に染める。
けん玉検定	3	31	19	20	6									76		夏休み中の課題としてきたけん玉の成果を発表する。
クリスマス会出し物練習	23	650	317	346	20									1333		クリスマス会でを行う出し物の練習を班の仲間と行う。
クリスマス会(リハーサル含む)	3	84	52	52	3		5	11				101	308		体育館にて開催。学童児は、オープニングで、班で協力して考えた出し物を発表し、保護者にも観覧してもらう。その後、工作を全員で行い、エンディングではサンタクラブの出し物を楽しむ。最後にプレゼントをもらう。	
みんな遊び	3	64	36	33	5									138		ドッジボールやゲームをみんなで楽しむ。
ミニやんちゃフェス2022	1	2	2	1										5		他館の児童館との交流事業。ZOOMを使ってゲームを楽しむ。
駄菓子屋さん(準備含む)	3	26	13	26	1									66		3年生が駄菓子屋、1、2、4年生が客となって買い物を楽しんだ後、それぞれが買った駄菓子をおやつとして食べる。
伝承あそび「かまぼこ落とし」	4	18	10	9	2									39		お正月に伝承遊び「かまぼこ落とし」を楽しむ。
退所記念制作	1	3	3											6		退所児は記念品の絞り染めTシャツ製作に取り組む。
文集制作	3	28	18	16	1									63		1、2、4年生は3年生へのメッセージ、3年生は思い出を文集にまとめる。
3年生遠足『御室八十八カ所』	1			14										14		例年の合宿が中止となったため、遠足を行う。御室八十八カ所をクイズに答えながら楽しく登山する。下山後はレストランで昼食を食べる。
修了式(縮小)	1	24	13	16	1									54		今年度で修了する子ども達は、証書・記念品・文集・ミニアルバムをもらう。退所する子は絞り染めTシャツをもらう。
誕生日祝い													72	72		子どもたち一人ひとりの誕生日に保護者、職員からお祝いメッセージのカードと、班の仲間から手紙と誕生日プレゼント(自分で描いたセラミックのお皿)をもらう。
3) 子育て支援活動														0		
親睦会	1	20	10	8	4								54	96		保護者会主催による、ゆるスポーツを通して親子・保護者同士のつながりをもつきっかけとなる会。
納涼祭り	1	24	14	18	5		40	31	61			9	105	307		常磐野小学校の体育館にて、夏休み最後の思い出として実施。学童のステージ発表や、あそびを中心としたコーナー展開を行う。エンディングには、蜂ヶ岡中学の吹奏楽部による演奏を依頼し楽しんだ。
親子お茶会	1	2	3	2								3	8	18		地域にお住まいの茶道の先生を講師に招き、親子で茶道の体験をする。
懇談会	6	7	7	3									216	233		時には、子どもたちの活動の様子の写真を使用しながら学童の生活を知らせ、家庭の様子など話し合う。テーマを決め懇談する。
個人懇談会	7												41	41		懇談会だけでは伝えきれないことや個人の様子を職員間でまとめ、保護者に伝える。
新入所オリエンテーション	3												40	40		新しく入所する子どもの保護者対象に、学童の生活・ルール等を話す。

- \*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
- \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとに異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること